

2. (起債事業)数量計算書

数量総括表

(1/2)
起債事業

工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規 格	単位	設計 数量	積算 数量	摘 要
管きょ工(φ150mm)			区間延長	m	277.5	277.5	
	管路土工						
		管路掘削	機械施工0.28m3	m3	501.3	500	501.3+0
		管路埋戻	機械施工0.28m3	m3	447.7	450	447.7+0
		発生土運搬	現場～仮置き場 4t 運搬距離0.5km以下	m3	501.3	500	
		埋戻土運搬	仮置き場～現場 4t 積込(ルーズ) 運搬距離0.2km以下	m3	471.3	470	447.7/0.95
		発生土処理	下水道センター 運搬距離 8.0km	m3	24.2	20	501.3-(447.7+ 0+5.5)/0.95
		発生土処理	下水道センター 運搬距離 5.4km	m3			
	管布設工						
		硬質塩化ビニル管	φ150mm	m	273.6	274	
		可とう継手	φ150mm	箇所	6	6	
		曲管	φ150mm	個	(3)	(3)	硬質塩化ビニル管布設工に含む
		鏡切り	φ150mm	箇所	2	2	0.8m/箇所
	管基礎工						
		砂基礎	幅600mm	m			
			幅900mm	m	273.6	274	土留 5.5 m3
			幅550mm	m			

数量総括表

(2/2)
起債事業

[illegible]

数量総括表

(1/2)
起債事業

工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規 格	単位	設計 数量	積算 数量	摘 要
マンホール工							
	組立マンホール工(0号)						
		組立0号マンホール	平均マンホール深 2.2 m	箇所	2	2	
		鉄蓋(受枠込)	φ 600mm 車道用(T-14 除雪対応)	組	2	2	
			φ 600mm 車道用(T-25)	組			
			φ 600mm 車道用(T-25 除雪対応)	組			
		調整金具	25mm	組			
			45mm	組	2	2	
		調整リング	H=5cm	個			
			H=10cm	個	1	1	
			H=15cm	個	1	1	
		斜壁ブロック	H=30cm	個			
			H=45cm	個	2	2	
			H=60cm	個			
		直壁ブロック	H=60cm	個			
			H=90cm	個			
			H=120cm	個			
			H=150cm	個			
			H=180cm	個			

数量総括表

(2/2)
起債事業

工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規 格	単位	設計 数量	積算 数量	摘 要
		躯体ブロック	H=60cm	個			
			H=90cm	個			
			H=120cm	個			
			H=150cm	個	1	1	
			H=180cm	個	1	1	
		底板ブロック	H=13cm	個	2	2	
		組立マンホール工(据付)	マンホール深 2.0m以下	箇所			
			マンホール深 2.0mを超え3.0m以下	箇所	2	2	
			マンホール深 3.0mを超え5.0m以下	箇所			
		底部工	インバート及び基礎砕石	箇所	2	2	
			基礎砕石のみ	箇所			
			インバートのみ	箇所			
		削孔	φ100mm	箇所	2	2	
			φ150mm	箇所			
			φ200mm	箇所			

数量総括表

(1/1)
起債事業

工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規 格	単位	設計 数量	積算 数量	摘 要
マンホール工							
	組立マンホール工(内副管)						
		副管(φ100mm)	φ100mm 平均落差 0.8 m	箇所	3	3	
		貼付型内副管用継手	2号用 φ150mm×φ100mm	個	2	2	
		貼付型内副管用継手	1号用 φ150mm×φ100mm	個	1	1	
		硬質塩ビ管(プレーンエンド)	φ100mm L=4m	本	0.5	0.5	
		90° 曲管	φ100mm	個	3	3	
		固定バンド	φ100mm用	個	6	6	
		副管(φ150mm)	φ150mm 平均落差 0.000 m	箇所			
		貼付型内副管用継手	φ200mm×φ150mm	個			
		硬質塩ビ管(プレーンエンド)	φ150mm L=4m	本			
		90° 曲管	φ150mm	個			
		固定バンド	φ150mm用	個			
		内副管取付工	1.0m未満	箇所	3	3	
			1.0m以上1.5m未満	箇所			
			1.5m以上2.0m未満	箇所			
			2.0m以上2.5m未満	箇所			
			2.5m以上3.0m未満	箇所			

数量総括表

(1/1)
起債事業

[illegible]

数量総括表

(1/2)
起債事業

工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規 格	単位	設計 数量	積算 数量	摘 要
取付管及びます工							
	管路土工						
		管路掘削	機械施工0.13m3	m3	57.5	60	28.3+29.2
		管路埋戻	機械施工0.13m3	m3	49.5	50	23.6+25.9
		発生土運搬	現場～仮置き場 運搬距離0.5km以下	m3	57.5	60	
		埋戻土運搬	仮置き場～現場 積込(ルーズ) 運搬距離0.3km以下	m3	52.1	50	49.5/0.95
		発生土処理	下水道センター 運搬距離8.0km	m3	5.4	10	57.5-49.5/0.95
		発生土処理	下水道センター 運搬距離5.4km	m3			
	ます設置工						
		ます	φ 200mm 塩ビ製蓋	箇所	9	9	深さ1.5m以下
			φ 200mm 鋳鉄製蓋	箇所	7	7	深さ1.5m以下
			φ 200mm 防護蓋(簡易型T-8)	箇所	1	1	砕石0.3m2/箇所 深さ1.5m以下
			φ 300mm 塩ビ製蓋	箇所			深さ1.5m以下
	取付管布設工						
		取付管	3m未満 硬質塩化ビニル管 φ 100mm	箇所	17	17	平均 L= 2.95 m
			3mを超え5m未満 硬質塩化ビニル管 φ 100mm	箇所			L= m
			5mを超え12m未満 硬質塩化ビニル管 φ 100mm	箇所			L= m
			3mを超え5m未満 硬質塩化ビニル管 φ 150mm	箇所			L= m

数量総括表

(2/2)
起債事業

[illegible]

数量総括表

(1/3)
起債事業

工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規 格	単位	設計 数量	積算 数量	摘 要
付帯工							
	舗装撤去工						
		舗装版切断	As 厚さ15cm以下	m	500.5	500	
		舗装版切断	Co 厚さ15cm以下	m	102.0	100	
		舗装版破碎	厚さ10cm以下	m2	1216.3	1220	
		殻運搬処分	As殻 運搬距離 9.1km	m3	55.3	55	130.0 t
		舗装版破碎(小規模)	As 厚さ10cm以下	m2	217.7	220	
		殻運搬処分(小規模)	As殻 運搬距離 9.1km	m3	10.1	10	23.7 t
		殻運搬処分(路面切削)	As殻 運搬距離 7.8km	m3			t
		舗装版破碎	Co 厚さ10cm以下	m2	45.9	50	
		殻運搬処分	Co殻 運搬距離 14.1km	m3	4.6	5	10.8 t
	舗装復旧工(車道4-10)						
		不陸整正	粒度調整碎石M-30 補足材3cm	m2	105.0	105	
		表層	再生密粒度アスコン t=4cm 1.4m以上	m2			
			再生密粒度アスコン t=4cm 1.4m未満	m2	105.0	105	
	舗装復旧工(車道5-10-10)						
		不陸整正	粒度調整碎石M-30 補足材2cm	m2	1065.4	1070	
		表層	再生密粒度アスコン t=5cm 3.0m超	m2	1065.4	1070	
			再生密粒度アスコン t=5cm 1.4m未満	m2			

数量総括表

(2/3)
起債事業

[illegible]

数量総括表

(3/3)
起債事業

[illegible]

数量総括表

(1/1)
起債事業

[illegible]

数量計算書

本管材料(φ150mm)

起債事業

路線 番号	作業 種別	区間距離 ①	人孔番号	人孔種別	人孔控除		管布設延長 ④=①-②-③	曲管 ⑤	可とう継手 ⑥	鏡切り ⑦	摘 要																																								
					②内径	③壁厚																																													
					m	m																																													
61 j'db	土留め	81.50	No.7 No.7+81.50	0 8	0.375 0.000	0.075 0.000	81.050		1		<table><tr><th>種別</th><th>名 称</th><th>内径/2</th><th>壁厚</th></tr><tr><td>0</td><td>0号人孔</td><td>0.375</td><td>0.075</td></tr><tr><td>1</td><td>1号人孔</td><td>0.450</td><td>0.075</td></tr><tr><td>2</td><td>2号人孔</td><td>0.600</td><td>0.100</td></tr><tr><td>3</td><td>塩ビ人孔(起点)</td><td>0.290</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>塩ビ人孔(上流)</td><td>0.190</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>塩ビ人孔(下流)</td><td>0.290</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>レジン人孔(上流)</td><td>0.245</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>レジン人孔(下流)</td><td>0.225</td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>自在曲管</td><td>0.000</td><td></td></tr></table>	種別	名 称	内径/2	壁厚	0	0号人孔	0.375	0.075	1	1号人孔	0.450	0.075	2	2号人孔	0.600	0.100	3	塩ビ人孔(起点)	0.290		4	塩ビ人孔(上流)	0.190		5	塩ビ人孔(下流)	0.290		6	レジン人孔(上流)	0.245		7	レジン人孔(下流)	0.225		8	自在曲管	0.000	
種別	名 称	内径/2	壁厚																																																
0	0号人孔	0.375	0.075																																																
1	1号人孔	0.450	0.075																																																
2	2号人孔	0.600	0.100																																																
3	塩ビ人孔(起点)	0.290																																																	
4	塩ビ人孔(上流)	0.190																																																	
5	塩ビ人孔(下流)	0.290																																																	
6	レジン人孔(上流)	0.245																																																	
7	レジン人孔(下流)	0.225																																																	
8	自在曲管	0.000																																																	
	土留め	4.00	No.7+81.50 No.15	8 2	0.000 0.600	0.000 0.100	3.300	1	1	1																																									
61 j'hb	土留め	46.00	No.25 No.25+46	3 8	0.290 0.000	0.000 0.000	45.710																																												
	土留め	7.00	No.25+46 No.28	8 0	0.000 0.375	0.000 0.075	6.550	1	1																																										
61 j'ja'	土留め	54.50	No.30 No.31	0 2	0.375 0.600	0.075 0.100	53.350		1 1	1																																									
61 j'la	土留め	79.50	No.34 No.34+79.5	3 8	0.290 0.000	0.000 0.000	79.210																																												
	土留め	5.00	No.34+79.5 No.36	8 1	0.000 0.450	0.000 0.075	4.475	1	1																																										
合計		277.50					273.645	3	6	2																																									

ha当り時間最大汚水量(原単位)

0.000148

 m3/秒・ha

交付金対象となる下水排除量(日最大)

3

 m3/日

交付金対象となる上流側面積

0.23

 ha

ha当り時間最大汚水量(原単位)
0.000148 m3/秒・ha
交付金対象となる下水排除量(日最大)
3 m3/日
交付金対象となる上流側面積
0.23 ha

数量計算書

本管土工(φ150mm)		土留施工										起債事業 (単位:m)				
路線名	区間延長	マンホール番号	本管土被り	平均掘削深			掘削延長 L	土工幅 W	舗装厚		掘削深 (C-①) H	埋戻深 (C-②) H'	掘削土量 (W×H×L) D	埋戻土量 (W×H'-0.04)×L E	管布設延長 L'	砂基礎 (0.02×L') F
		上流 下流	上流 下流	平均土被り A	管径 B	平均深さ C=A+B			掘削時① (As)	埋戻時② (As+路盤)						
61 j'db	81.50	No.7	2.20													
		No.7+81.50	2.29	2.245	0.165	2.410	81.50	0.90	0.05	0.25	2.360	2.160	173.1	155.2	81.050	1.6
	4.00	No.7+81.50	2.29													
		No.15	2.32	2.305	0.165	2.470	4.00	0.90	0.05	0.25	2.420	2.220	8.7	7.8	3.300	0.1
61 j'hb	46.00	No.25	1.05													
		No.25+46	1.86	1.455	0.165	1.620	46.00	0.90	0.05	0.25	1.570	1.370	65.0	54.9	45.710	0.9
	7.00	No.25+46	1.86													
		No.28	1.99	1.925	0.165	2.090	7.00	0.90	0.05	0.25	2.040	1.840	12.9	11.3	6.550	0.1
61 j'ja'	54.50															
		No.30	1.95													
61 j'la	79.50	No.31	2.18	2.065	0.165	2.230	54.50	0.90	0.05	0.25	2.180	1.980	106.9	94.9	53.350	1.1
		No.34	1.80													
	5.00	No.34+79.5	1.51	1.655	0.165	1.820	79.50	0.90	0.04	0.14	1.780	1.680	127.4	117.0	79.210	1.6
		No.34+79.5	1.51													
		No.36	1.47	1.490	0.165	1.655	5.00	0.90	0.04	0.14	1.615	1.515	7.3	6.6	4.475	0.1
合計	277.50						277.50						501.3	447.7	273.645	5.5

管控除体積

$\pi/4\times0.165^2=$ 0.02m3/m

砂基礎体積

$0.90\times0.024-(\pi/4\times0.165^2/4-0.083\times0.083\times1/2)=$ 0.020m3/m

数量計算書

土留工(φ150mm)					起債事業
路線 番号	マンホール番号	平均掘削深 H	区間延長 L	数量 H×L	適 用
61 j'db	No.7 ~ No.7+81.50	2.410	81.50	196.42	路線平均掘削深 H= 569.96 ÷ 277.50 ≒ 2.05 m 建込簡易土留延長 L= 277.50 m 建込簡易土留規格 2.5 型
	No.7+81.50 ~ No.15	2.470	4.00	9.88	
61 j'hb	No.25 ~ No.25+46	1.620	46.00	74.52	
	No.25+46 ~ No.28	2.090	7.00	14.63	
	~				
61 j'ja'	No.30 ~ No.31	2.230	54.50	121.54	
61 j'la	No.34 ~ No.34+79.5	1.820	79.50	144.69	
	No.34+79.5 ~ No.36	1.655	5.00	8.28	
	~				
	~				
	~				
	~				
	~				
	~				
	~				
	~				
合計			277.50	569.96	

[illegible]

数量集計表

内副管(φ150mm-100mm)											起債事業
路線 番号	マンホール 番 号	本管径	副管径	落差	管材料					マンホール 削孔 φ150 箇所	摘要
					内副管継手 2号 φ150-100	内副管継手 1号 φ150-100	PE直管 φ100	90° 曲管 φ100	固定バンド φ100		
		mm	mm	m	個	個	本	個	個	箇所	
61 j'db	(61-j'd) No.15	150	100	0.866	1		0.2	1	2		No.7→No.15
61 j'ja'	(61-j'j) No.31	150	100	0.917	1		0.2	1	2		No.30→No.31
61 j'la	(61-j'lb) No.36	150	100	0.735		1	0.1	1	2		No.34→No.36
合計			箇所 3	平均 0.839	2	1	0.5	3	6		

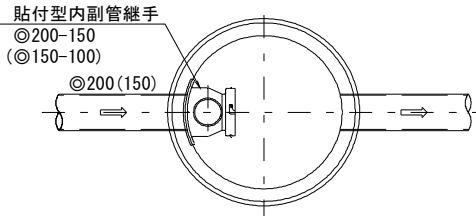
数量計算書

内副管($\phi 150\text{mm}-100\text{mm}$)

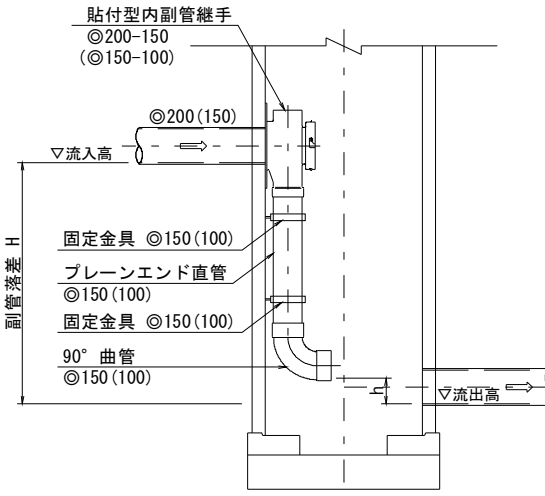
起債事業

マンホール番号 NO.7→ No.15 (61-1'd

直管長= 0.50 m

$$\Delta z = 0.866 \text{ m}$$


断面図



流出管 ②200
段差 h 0.100
(流出管内径/2)

直管控除		
支管	ℓ	0.090
曲管	z	0.178

[illegible]

数量計算書

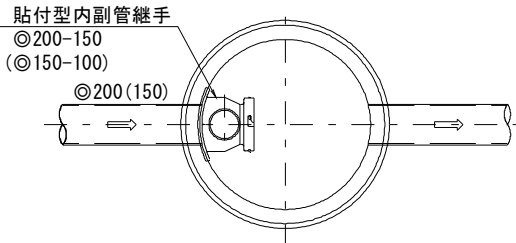
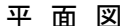
内副管($\phi 150\text{mm}-100\text{mm}$)

起債事業

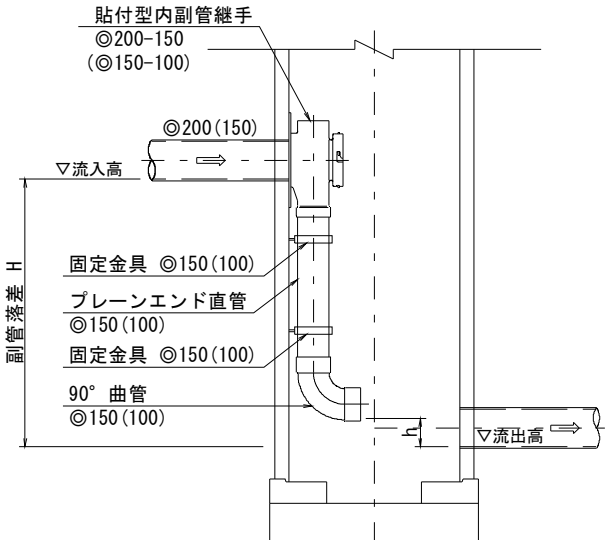
マンホール番号 NO.31 (61-ii)

直管長= 0.55 m

落差= 0.917 m



断面図

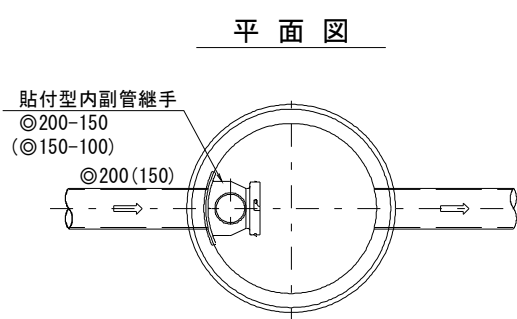
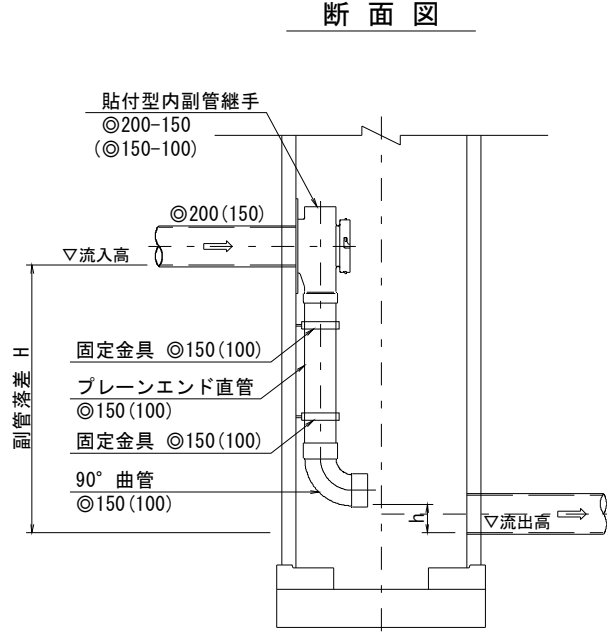


流出管 ②200
段差 h 0.100
(流出管内径/2)

直管控除		
支管	ℓ	0.090
曲管	z	0.178

[illegible]

数量計算書

内副管(φ150mm-100mm)				起債事業				
マンホール番号 NO.34→ No.36 (61-jlb)		直管長= 0.37 m	落差= 0.735 m					
<div>平面図</div>  <div>断面図</div>  <div>流出管 ◎200 段差 h 0.100 (流出管内径/2)</div> <div>直管控除 支管 ℓ 0.090 曲管 z 0.178</div>				名称	種別	計算式	単位	数量
				貼付型 内副管継手	1号用 φ150×100		個	1
				PE直管	φ100 L=4m	$0.735 - 0.100 - 0.09 - 0.178 = 0.367$ $0.367 / 4.0$	本	0.10
				90° 曲管	φ100		個	1
				固定バンド	φ100用	$0.735 \div @1.0m + 1$	個	2
				マンホール 削孔	φ150		箇所	

[illegible]

起債事業

数量計算書

汚水枡(φ200mm) 取付管(φ100mm)													起債事業		
路線 番号	位置	名 前	枡深 m	インパ-ト形状		取付管 延 長 m	掘削深			平均掘削深 ((①+②)/2 m	作業区分 ※3	蓋形状			摘 要
				横型 個	縦型 個		枡 ① m	本管※1 ② m	本管※2 ② m			塩ビ 個	鋳鉄 個	防護 個	
61 j'db	左	27-1	1.40	1		4.10	1.40	1.44		1.42	素掘	1			
		27-2	1.00		1	4.30	1.45	1.49		1.47	素掘	1			
		32-1													未確定
		32-2													未確定
		小 計			1	1	8.40	平均 1.43			平均 1.45		2		
	右	28	1.50	1		4.40	1.50	1.54		1.52	素掘		1		
小 計				1		4.40	平均 1.50			平均 1.52			1		
合 計					2	1	12.80					2	1		

※1 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定である場合) → 本管位置の掘削深は、「枡掘削深+取付管延長×1%」で算出する。

※2 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定でない場合) → 本管位置の掘削深は、「横断面図からプロットした深さ」とする。

※3 道路内の取付管深さが素掘りでよいにもかかわらず、宅地の地盤高が高いために、宅地側の枡掘削深さと本管側の掘削深を平均すると、土留め施工になってしまう場合がある。

宅地側の地盤高が高く、土留めになってしまう場合、枡掘削深さ①の値は、宅地側から算出した枡掘削深さから地盤の高低差を差し引いた値とする。

ただし、地盤の高低差がある場合でも、取付管の作業区分が変わらなければ、高低差を考慮する必要はないものとする。

数量計算書

汚水枳(φ200mm) 取付管(φ100mm)														起債事業	
路線 番号	位置	名 前	枳深	インバート形状		取付管 延 長	掘削深			平均掘削深 (①+②)/2 m	作業区分 ※3	蓋形状			摘 要
				横型	縦型		枳 ①	本管※1 ②	本管※2 ②			塩ビ	铸铁	防護	
			m	個	個	m	m	m	m	m		個	個	個	
61 j'db	左														
		小 計					平均			平均					
	右	29	0.90		1	4.10	1.91	1.95		1.93	山留		1		
		30												未確定	
小 計				1	4.10	平均 1.91			平均 1.93			1			
合 計					1	4.10						1			

- ※1 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定である場合) → 本管位置の掘削深は、「枡掘削深+取付管延長×1%」で算出する。
- ※2 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定でない場合) → 本管位置の掘削深は、「横断面図からプロットした深さ」とする。
- ※3 道路内の取付管深さが素掘りでよいにもかかわらず、宅地の地盤高が高いため、宅地側の枡掘削深さと本管側の掘削深を平均すると、土留め施工になってしまう場合がある。
宅地側の地盤高が高く、土留めになってしまう場合、枡掘削深さ①の値は、宅地側から算出した枡掘削深さから地盤の高低差を差し引いた値とする。
ただし、地盤の高低差がある場合でも、取付管の施工区分が変わらなければ、高低差を考慮する必要はないものとする。

数量計算書

汚水枳(φ200mm) 取付管(φ100mm)													起債事業		
路線 番号	位置	名 前	枳深	インバ-ト形状		取付管 延 長	掘削深			平均掘削深 (①+②)/2 m	作業区分 ※3	蓋形状			摘 要
				横型	縦型		枳 ①	本管※1 ②	本管※2 ②			塩ビ	鋳鉄	防護	
			m	個	個	m	m	m	m	m		個	個	個	
61 j'hb	左	115,116	0.80	1		2.70	0.80	0.83		0.81	素掘	1			
		小 計		1		2.70	平均 0.80			平均 0.81		1			
	右	118	1.10	1		2.05	1.10	1.12		1.11	素掘		1		
小 計			1		2.05	平均 1.10			平均 1.11			1			
合 計				2		4.75					1	1			

- ※1 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定である場合) → 本管位置の掘削深は、「枡掘削深+取付管延長×1%」で算出する。
- ※2 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定でない場合) → 本管位置の掘削深は、「横断面図からプロットした深さ」とする。
- ※3 道路内の取付管深さが素掘りでよいにもかかわらず、宅地の地盤高が高いため、宅地側の枡掘削深さと本管側の掘削深を平均すると、土留め施工になってしまう場合がある。
宅地側の地盤高が高く、土留めになってしまう場合、枡掘削深さ①の値は、宅地側から算出した枡掘削深さから地盤の高低差を差し引いた値とする。
ただし、地盤の高低差がある場合でも、取付管の施工区分が変わらなければ、高低差を考慮する必要はないものとする。

数量計算書

汚水枡(φ200mm) 取付管(φ100mm)													起債事業		
路線 番号	位置	名 前	枡深	インバート形状		取付管 延 長	掘削深			平均掘削深 (①+②)/2	作業区分 ※3	蓋形状			摘 要
				横型	縦型		枡 ①	本管※1 ②	本管※2 ②			塩ビ	铸铁	防護	
			m	個	個	m	m	m	m	m		m	個	個	
61 j'ja'	左	86	1.70		1	3.80	2.31	2.35		2.33	山留		1		
		87	0.80		1	3.80	1.89	1.93		1.91	山留		1		
		小 計			2	7.60	平均 2.10			平均 2.12			2		
	右	89-1													未確定
		89-2													未確定
		90	1.10		1	4.20	1.54	1.58		1.56	素掘		1		
			小 計			1	4.20	平均 1.54			平均 1.56			1	
合 計					3	11.80						3			

- ※1 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定である場合) → 本管位置の掘削深は、「枡掘削深+取付管延長×1%」で算出する。
- ※2 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定でない場合) → 本管位置の掘削深は、「横断面図からプロットした深さ」とする。
- ※3 道路内の取付管深さが素掘りでよいにもかかわらず、宅地の地盤高が高いため、宅地側の枡掘削深さと本管側の掘削深を平均すると、土留め施工になってしまう場合がある。
宅地側の地盤高が高く、土留めになってしまう場合、枡掘削深さ①の値は、宅地側から算出した枡掘削深さから地盤の高低差を差し引いた値とする。
ただし、地盤の高低差がある場合でも、取付管の施工区分が変わらなければ、高低差を考慮する必要はないものとする。

数量計算書

汚水枳(φ 200mm) 取付管(φ 100mm)													起債事業		
路線 番号	位置	名 前	枳深	インバ-ト形状		取付管 延 長	掘削深			平均掘削深 ((①+②))/2	作業区分 ※3	蓋形状			摘 要
				横型	縦型		枳 ①	本管※1 ②	本管※2 ②			塩ビ 防護	鋳鉄	防護	
			m	個	個	m	m	m	m	m		個	個	個	
61 j'la	左	105													未確定
		106	1.00	1		1.40	1.00	1.01		1.01	素掘	1			
		107	1.00	1		1.40	1.00	1.01		1.01	素掘	1			
		小 計		2		2.80	平均 1.00			平均 1.01		2			
	右	99	1.50	1		2.20	1.50	1.52		1.51	素掘	1			
		100	1.50	1		2.20	1.50	1.52		1.51	素掘	1			
		102,103	1.40	1		2.60	1.40	1.43		1.41	素掘		1		
小 計			3		7.00	平均 1.47			平均 1.48		2	1			
合 計				5		9.80					4	1			

- ※1 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定である場合) → 本管位置の掘削深は、「枡掘削深+取付管延長×1%」で算出する。
- ※2 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定でない場合) → 本管位置の掘削深は、「横断面図からプロットした深さ」とする。
- ※3 道路内の取付管深さが素掘りでよいにもかかわらず、宅地の地盤高が高いため、宅地側の枡掘削深さと本管側の掘削深を平均すると、土留め施工になってしまう場合がある。
宅地側の地盤高が高く、土留めになってしまう場合、枡掘削深さ①の値は、宅地側から算出した枡掘削深さから地盤の高低差を差し引いた値とする。
ただし、地盤の高低差がある場合でも、取付管の施工区分が変わらなければ、高低差を考慮する必要はないものとする。

数量計算書

汚水枳(φ200mm) 取付管(φ100mm)														起債事業	
路線 番号	位置	名 前	枳深 m	インパト形状		取付管 延 長 m	掘削深			平均掘削深 (①+②)/2 m	作業区分 ※3	蓋形状			摘 要
				横型 個	縦型 個		枳 ① m	本管※1 ② m	本管※2 ② m			塩ビ 個	鋳鉄 個	防護 個	
61 jla	左														
	右	小 計					平均			平均					
		123	1.60	1		2.20	1.60	1.62		1.61	山留	1			
		98	1.60	1		2.30	1.60	1.62		1.61	山留	1			
		101	1.60	1		2.40	1.60	1.62		1.61	山留			1	
小 計			3		6.90	平均 1.60			平均 1.61		2		1		
合 計				3		6.90					2		1		
総 合 計				12	5	50.15	取付平均 2.95				9	7	1		

- ※1 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定である場合) → 本管位置の掘削深は、「枡掘削深+取付管延長×1%」で算出する。
- ※2 本管位置で取付管の立ち上げあり(取付管勾配が一定でない場合) → 本管位置の掘削深は、「横断面図からプロットした深さ」とする。
- ※3 道路内の取付管深さが素掘りでよいにもかかわらず、宅地の地盤高が高いため、宅地側の枡掘削深さと本管側の掘削深を平均すると、土留め施工になってしまう場合がある。
宅地側の地盤高が高く、土留めになってしまう場合、枡掘削深さ①の値は、宅地側から算出した枡掘削深さから地盤の高低差を差し引いた値とする。
ただし、地盤の高低差がある場合でも、取付管の作業区分が変わらなければ、高低差を考慮する必要はないものとする。

数量計算書

取付管土工(φ 100mm)

起債事業

素堀	勾配 1:0.1
柵径	φ 200mm

(単位:m)

路線 番号	位置	※ 取付管 総延長	※ 箇所数 N	取 付 管 平均延長 L	※ 平 均 掘削深 H	舗装構成		土工深		掘削幅		埋戻幅		土 工				摘要
						①As計 t1	③舗装計 t2	掘削深 H1	埋戻深 H2	上面幅 W1	平均幅 W3	上面幅 W4	平均幅 W6	掘削 V1	埋戻 V2	※ 平均 柵深 H3	柵控除 V3	
						②路盤計	①+②	H-t1	H-t2	下面幅 W2		下面幅 W5		H1*W3*L*N	((H2*W6-0.01)*L*N)-V3		0.04*H3*N	
61j'db	左	8.40	2	4.20	1.45	0.05 0.25		1.40	1.20	0.83 0.55	0.69	0.79 0.55	0.67	8.1	6.6	1.43	0.11	
	右	4.40	1	4.40	1.52	0.05 0.25		1.47	1.27	0.84 0.55	0.70	0.80 0.55	0.68	4.5	3.7	1.50	0.06	
61j'hb	左	2.70	1	2.70	0.81	0.10 0.20		0.71	0.61	0.69 0.55	0.62	0.67 0.55	0.61	1.2	0.9	0.80	0.03	
	右	2.05	1	2.05	1.11	0.10 0.20		1.01	0.91	0.75 0.55	0.65	0.73 0.55	0.64	1.3	1.1	1.10	0.04	
61j'ja'	左																	
	右	4.20	1	4.20	1.56	0.05 0.25		1.51	1.31	0.85 0.55	0.70	0.81 0.55	0.68	4.4	3.6	1.54	0.06	
61j'la	左	2.80	2	1.40	1.01	0.04 0.14		0.97	0.87	0.74 0.55	0.65	0.72 0.55	0.64	1.8	1.5	1.00	0.08	
	右	7.00	3	2.33	1.48	0.04 0.14		1.44	1.34	0.84 0.55	0.70	0.82 0.55	0.69	7.0	6.2	1.47	0.18	
合計		31.55	11	平均延長 2.87	平均掘削深 1.28									28.3	23.6	平均柵深 1.26		

管控除 (m2/m)		
管径	管外径	控除面積
100	0.114	0.010
150	0.165	0.021
200	0.216	0.037

柵控除 (m3/m)	
管径	控除面積
200	0.04
300	0.08

数量計算書

取付管土工(φ100mm)

起債事業

土留	軽量鋼矢板	掘削幅 0.85m
柵径	φ200mm	

(単位:m)

路線 番号	位置	※ 取付管 総延長	※ 箇所数 N	取 付 管 平均延長 L	※ 平 均 掘削深 H	舗装構成		土工深		掘削幅		埋戻幅		土 工				摘要
						①As計 t1	③舗装計 t2	掘削深 H1	埋戻深 H2	上面幅 W1	平均幅 W3	上面幅 W4	平均幅 W6	掘削 V1	埋戻 V2	※ 平均 柵深 H3	柵控除 V3	
						②路盤計	①+②	H-t1	H-t2	下面幅 W2		下面幅 W5		H1*W3*L*N	((H2*W6-0.01)*L*N)-V3		0.04*H3*N	
61j'db	左																	
	右	4.10	1	4.10	1.93	0.05 0.25		1.88	1.68	0.85 0.85	0.85	0.85 0.85	0.85	6.6	5.7	1.91	0.08	
61j'la	左																	
	右	6.90	3	2.30	1.61	0.04 0.14		1.57	1.47	0.85 0.85	0.85	0.85 0.85	0.85	9.2	8.4	1.60	0.19	
61j'ja'	左	7.60	2	3.80	2.12	0.05 0.25		2.07	1.87	0.85 0.85	0.85	0.85 0.85	0.85	13.4	11.8	2.10	0.17	
	右																	
合計		18.60	6	平均延長 3.10	平均掘削深 1.89									29.2	25.9	平均柵深 1.87		

管控除 (m2/m)		
管径	管外径	控除面積
100	0.114	0.010
150	0.165	0.021
200	0.216	0.037

柵控除 (m3/m)	
管径	控除面積
200	0.04
300	0.08

数量集計表

舗装撤去工 直接掘削																		起債事業			
舗装構成	路線番号	区間	舗装切断					舗装版破碎						舗装版破碎(小規模)		舗装版破碎(小規模)		殻処分 (小規模) As	殻処分 (小規模) As	殻処分 (小規模) Co	摘 要
		上流	3cm 歩道	4cm 車道	5cm 車道	交差点	10cm (Co)	3cm 歩道	交差点	4cm 車道	交差点	5cm 車道	交差点	3cm 仮舗装	5cm 車道	交差点	10cm (Co)				
		下流	15cm以下					10cm以下						10cm以下		10cm以下					
		m	m					m2						m2		m2					
4-10	61 j'la	No.34 No.36		179.54					26.0				79.0	79.0				3.4	3.2		
5-10-10	61 j'db	No.7 No.15			192.85							354.6	83.9	83.9				20.2	4.2		殻処分 車道+交差点
	未施工区間	No.15 No.54										129.5						6.5			
	未施工区間	No.16 No.22										44.0						2.2			
	未施工区間	No.55 No.29										22.6						1.1			
	61 j'ja'	No.30 No.31			128.11							248.4	54.8	54.8				14.1	2.7		殻処分 車道+交差点
	未施工区間	No.28 No.56										127.6						6.4			
Co舗装 10-10	61j'hb	No.41 No.28					102.00						45.9			45.9	1.4		4.6		
小 計			t≤15cm	179.54	320.96			t≤10cm	26.0	926.7	263.6	217.7		45.9							
合 計			t≤15cm	500.5			102.0	t≤10cm	1216.3				217.7	45.9	55.3	10.1	4.6				

※ 舗装剥ぎとりの交差点部は、別紙図面を参照すること。

数量集計表

舗装復旧工 4-10		舗装打ち換え								起債事業 (単位:m2)	
路線番号	区間	仮復旧		本復旧						摘 要	
	上流	上層路盤	表層	不陸整正 車道 交差点		表層 1.4m以上 交差点		表層 1.4m未満 交差点			路盤鋤取り m3
		11cm	3cm	補足材3cm		4cm		4cm			
		M-30	再生粗粒度	M-30		再生密粒度		再生密粒度			
61 j'la	No.34 No.36	79.00	79.00	105.00				105.00		0.80	
小 計				105.00				105.00		0.80	
合 計		79.00	79.00	105.00				105.00		補足材 t=3cm	補足材厚さ(整数止め四捨五入)=3cm(標準)-(路盤鋤取り土量)/(舗装本復旧面積-路盤仮復旧面積)

※ 本復旧の交差点部は、別紙図面を参照すること。
※ 本復旧施工幅は、車道幅員を原則として考えるが、施工幅員が1.4m以上でも、施工範囲が点在し小規模であれば、現場状況を考慮して1.4m未満として計上すること。

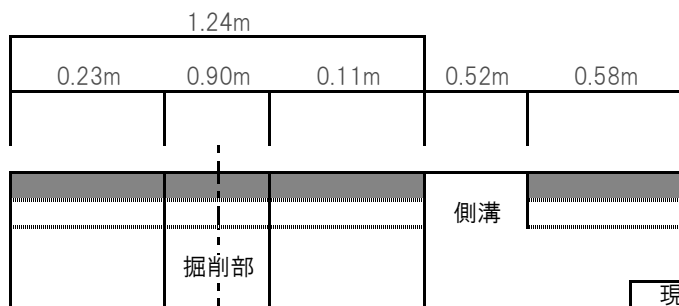
数量計算書

舗装撤去復旧工 市道 4 - 10

路線区間	61 jla No. 34 ~ No. 36	路線延長	84.50 m
復旧区間	No. 34 -1.00 ~ No. 34 +82.20	(起点+1.0m) 復旧延長	85.50 m 83.20 m
左側取付管 (素堀)		右側取付管 (素堀)	
設置数	2	設置数	3
復旧幅	仮舗装 0.74 m 本舗装 m	復旧幅	仮舗装 0.84 m 本舗装 1.04 m
左側取付管 (土留)		右側取付管 (土留)	
設置数		設置数	3
復旧幅	仮舗装 m 本舗装 m	復旧幅	仮舗装 0.85 m 本舗装 1.05 m

撤去工

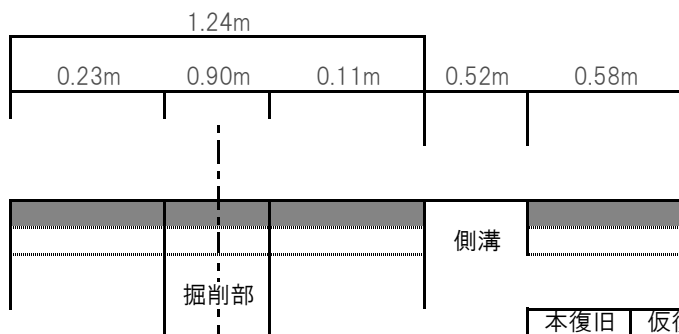
全面打換え



現況
4cm
10cm

復旧工

全面打換え



本復旧	仮復旧
4cm	3cm
10cm	11cm

舗装撤去工

1 カッター切断 4cm

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} && L = 85.50 \times 2 + && = 171.00 \text{ m} \\
 &\text{取付管 左} && L = 0.23 \times 2 \times 2 \text{ 力所} && = 0.92 \text{ m} \\
 &\text{右} && L = 0.11 \times 2 \times 3 \text{ 力所} + 0.58 \times 4 \times 3 \text{ 力所} && = 7.62 \text{ m} \\
 &&&&&& \text{計} = 179.54 \text{ m}
 \end{aligned}$$

2 舗装取壊し

① 仮舗装 3cm

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} && 85.50 \times 0.90 \\
 &\text{取付管 左} && + 0.23 \times 0.74 \times 2 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} && + 0.11 \times 0.84 \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &&& 0.58 \times 0.85 \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} && = 79.0 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

② 現況舗装 4cm

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} && 83.20 \times 1.24 \\
 &\text{取付管 左} && + \times \times 2 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} && + \times \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &&& 0.58 \times 1.05 \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} && = 105.0 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

3 As殻処分

$$V = 79.0 \times 0.03 + 105.0 \times 0.04 = 6.6 \text{ m}^3$$

舗装仮復旧

1 仮舗装 3cm (再生粗粒度As)

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} && 85.50 \times 0.90 \\
 &\text{取付管 左} && + 0.23 \times 0.74 \times 2 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} && + 0.11 \times 0.84 \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &&& 0.58 \times 0.85 \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} && = 79.0 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

2 上層路盤 11cm (M-30)

$$\text{仮舗装面積と同じ} = 79.0 \text{ m}^2$$

舗装本復旧

1 本舗装 4cm (表層:再生密粒度As)

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} && 83.20 \times 1.24 \\
 &\text{取付管 左} && + \times \times 2 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} && + \times \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} \\
 &&& 0.58 \times 1.05 \times 3 \text{ 力所 (素掘・土留)} && = 105.0 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

2 不陸整正 3cm (M-30)

$$\text{本舗装面積と同じ} = 105.0 \text{ m}^2$$

3 路盤鋤取り

$$79.0 \times 0.01 \text{ 補足材へ流用} = 0.8 \text{ m}^3$$

数量集計表

舗装復旧工 5-10-10

舗装打ち換え

起債事業
(単位:m2)

路線番号	区間	仮復旧			本復旧						摘要	
	上流	下層路盤	上層路盤	表層	不陸整正 車道 交差点		表層 1.4m以上 交差点		表層 1.4m未満 交差点			路盤鋤取り
	下流	10cm RC-30	12cm M-30	3cm 再生粗粒度	補足材2cm M-30		5cm 再生密粒度		5cm 再生密粒度			
61 j'db	No.7 No.15	83.90	83.90	83.90	438.50		438.50				1.70	
未施工区間	No.15 No.54				129.48		129.48					
未施工区間	No.16 No.22				44.03		44.03					
未施工区間	No.55 No.29				22.58		22.58					
61 j'ja'	No.30 No.31	54.80	54.80	54.80	303.20		303.20				1.10	
未施工区間	No.28 No.56				127.58		127.58					
小 計					1065.37		1065.37				2.80	
合 計		138.70	138.70	138.70	1065.37		1065.37				補足材 t=2cm	補足材厚さ(整数止め四捨五入)=3cm(標準)-(路盤鋤取り土量)/(舗装本復旧面積-路盤仮復旧面積)

※ 本復旧の交差点部は、別紙図面を参照すること。
※ 本復旧施工幅は、車道幅員を原則として考えるが、施工幅員が1.4m以上でも、施工範囲が点在し小規模であれば、現場状況を考慮して1.4m未満として計上すること。

舗装撤去復旧工				県道 5 - 10 - 10				起債事業			
路線区間		61 jdb No. 7 ~ No. 15 -1.15		(立坑部控除)		路線延長		85.50 m			
復旧区間		No. 7 -1.00 ~ No. 15 -1.35		(立坑部控除)		(起点+1.0m)		85.35 m			
左側取付管 (素堀)				右側取付管 (素堀)							
設置数		2		箇所		設置数		1		箇所	
復旧幅		仮舗装 本舗装		0.83 m		復旧幅		仮舗装 本舗装		0.84 m	
左側取付管 (土留)				右側取付管 (土留)							
設置数				箇所		設置数		1		箇所	
復旧幅		仮舗装 本舗装		m		復旧幅		仮舗装 本舗装		0.85 m	
撤去工											
全面打換え (片側1車線)											
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 20px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 40px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 60px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 80px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 100px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;">影響幅</div> <div style="width: 30%;">掘削部</div> <div style="width: 30%;">影響幅</div> </div> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">現況</div> <div style="width: 30%;">5cm</div> <div style="width: 30%;">10cm</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">10cm</div> </div> </div> </div>											
復旧工											
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 20px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 40px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 60px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 80px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> <div style="position: absolute; top: 100px; left: 0; right: 0; height: 20px; background-color: #cccccc;"></div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;">影響幅</div> <div style="width: 30%;">掘削部</div> <div style="width: 30%;">影響幅</div> </div> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">本復旧</div> <div style="width: 30%;">仮復旧</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">5cm</div> <div style="width: 30%;">3cm</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">10cm</div> <div style="width: 30%;">12cm</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">10cm</div> <div style="width: 30%;">10cm</div> </div> </div> </div>											

数量計算書

舗装撤去復旧工 県道 5 - 10 - 10

起債事業

路線区間	61 jja' No. 30 ~ No. 31 -1.25	(立坑部控除)	路線延長	54.50 m
復旧区間	No. 30 -1.00 ~ No. 31 -1.45	(立坑部控除) (起点+1.0m)	復旧延長	54.25 m
左側取付管 (素堀)		右側取付管 (素堀)		
設置数	箇所	設置数	箇所	
復旧幅	仮舗装 0.85 m	復旧幅	仮舗装 0.85 m	
	本舗装 m		本舗装 m	
左側取付管 (土留)		右側取付管 (土留)		
設置数	箇所	設置数	箇所	
復旧幅	仮舗装 0.85 m	復旧幅	仮舗装 m	
	本舗装 m		本舗装 m	

舗装撤去工

1 カッター切断 5cm

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} \quad L = 54.25 \times 2 + 5.61 = 114.11 \text{ m} \\
 &\text{取付管 左} \quad L = 2.29 \times 2 \times \text{カ所} + 2.29 \times 2 \times 2 \times \text{カ所} = 9.16 \text{ m} \\
 &\text{右} \quad L = 2.42 \times 2 \times 1 \times \text{カ所} + 2.42 \times 2 \times \text{カ所} = 4.84 \text{ m} \\
 &\text{計} = 128.11 \text{ m}
 \end{aligned}$$

2 舗装取壊し

① 仮舗装 3cm

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} \quad 54.25 \times 0.90 \\
 &\text{取付管 左} \quad + 2.29 \times 0.85 \times 2 \times \text{カ所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} \quad + 2.42 \times 0.85 \times 1 \times \text{カ所 (素掘・土留)} = 54.8 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

② 現況舗装 5cm

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} \quad 54.05 \times 5.61 \\
 &\text{取付管 左} \quad + 2.29 \times \times \text{カ所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} \quad + 2.42 \times \times \text{カ所 (素掘・土留)} = 303.2 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$3 \text{ As殻処分} \quad V = 54.8 \times 0.03 + 303.2 \times 0.05 = 16.8 \text{ m}^3$$

舗装仮復旧

1 仮舗装 3cm (再生粗粒度As)

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} \quad 54.25 \times 0.90 \\
 &\text{取付管 左} \quad + 2.29 \times 0.85 \times 2 \times \text{カ所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} \quad + 2.42 \times 0.85 \times 1 \times \text{カ所 (素掘・土留)} = 54.8 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

2 上層路盤 12cm (M-30)

下層路盤 10cm (RCM-30)

$$\text{仮舗装面積と同じ} = 54.8 \text{ m}^2$$

舗装本復旧

1 本舗装 5cm (表層:再生密粒度As)

$$\begin{aligned}
 &\text{本管} \quad 54.05 \times 5.61 \\
 &\text{取付管 左} \quad + \times \times \text{カ所 (素掘・土留)} \\
 &\text{右} \quad + 2.42 \times \times \text{カ所 (素掘・土留)} = 303.2 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

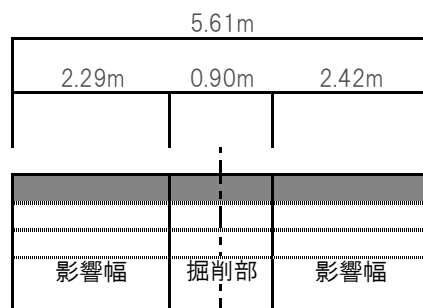
2 不陸整正 2cm (M-30)

$$\text{本舗装面積と同じ} = 303.2 \text{ m}^2$$

$$3 \text{ 路盤鋤取り} \quad 54.8 \times 0.02 \text{ 補足材へ流用} = 1.1 \text{ m}^3$$

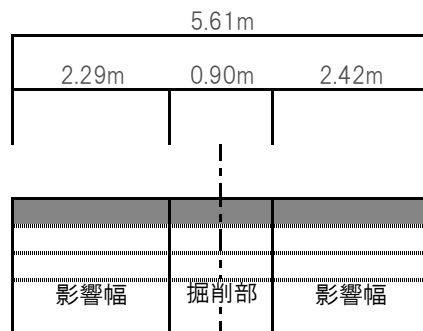
撤去工

全面打換え (片側1車線)



現況
5cm
10cm
10cm

復旧工



本復旧	仮復旧
5cm	3cm
10cm	12cm
10cm	10cm

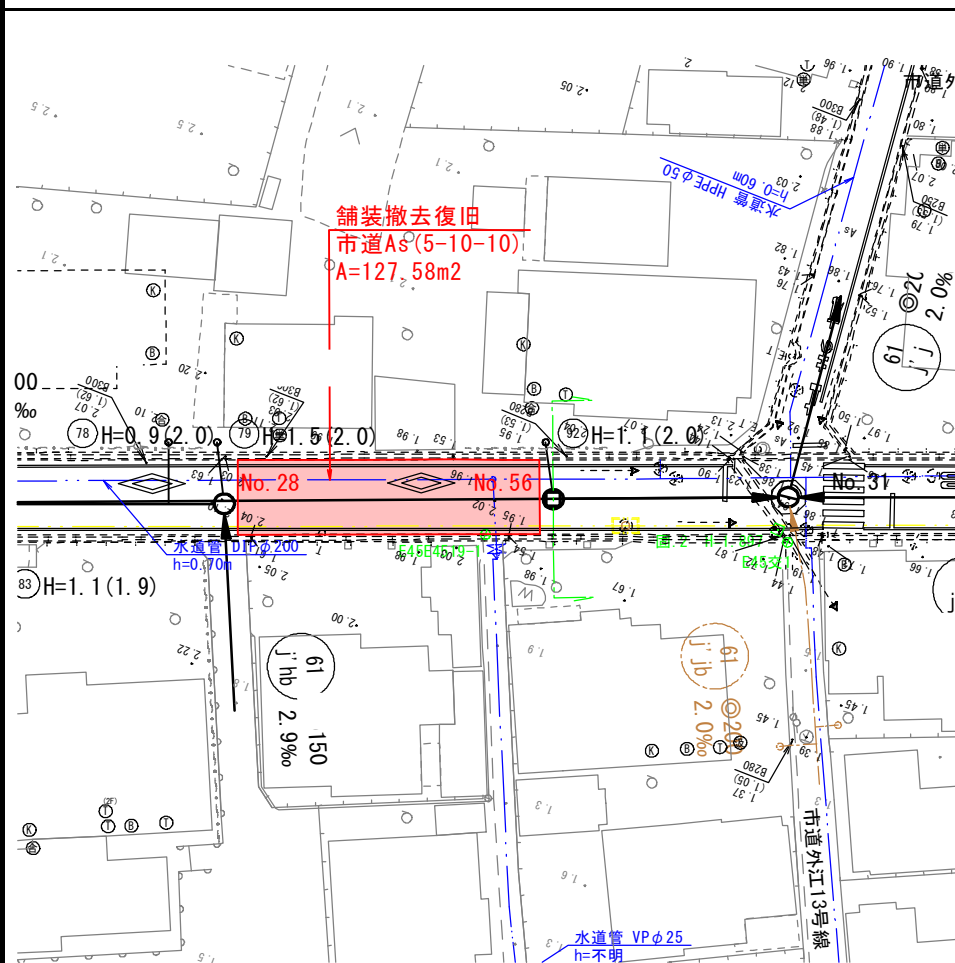
起債事業

[illegible]

5-10-10

起債事業

根 拋 圖



路線番号	測点
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31
32	32
33	33
34	34
35	35
36	36
37	37
38	38
39	39
40	40
41	41
42	42
43	43
44	44
45	45
46	46
47	47
48	48
49	49
50	50
51	51
52	52
53	53
54	54
55	55
56	56
57	57
58	58
59	59
60	60
61	61
62	62
63	63
64	64
65	65
66	66
67	67
68	68
69	69
70	70
71	71
72	72
73	73
74	74
75	75
76	76
77	77
78	78
79	79
80	80
81	81
82	82
83	83
84	84
85	85
86	86
87	87
88	88
89	89
90	90
91	91
92	92
93	93
94	94
95	95
96	96
97	97
98	98
99	99
100	100

未施工区間
No.28～No.56付近

[illegible]

数量集計表

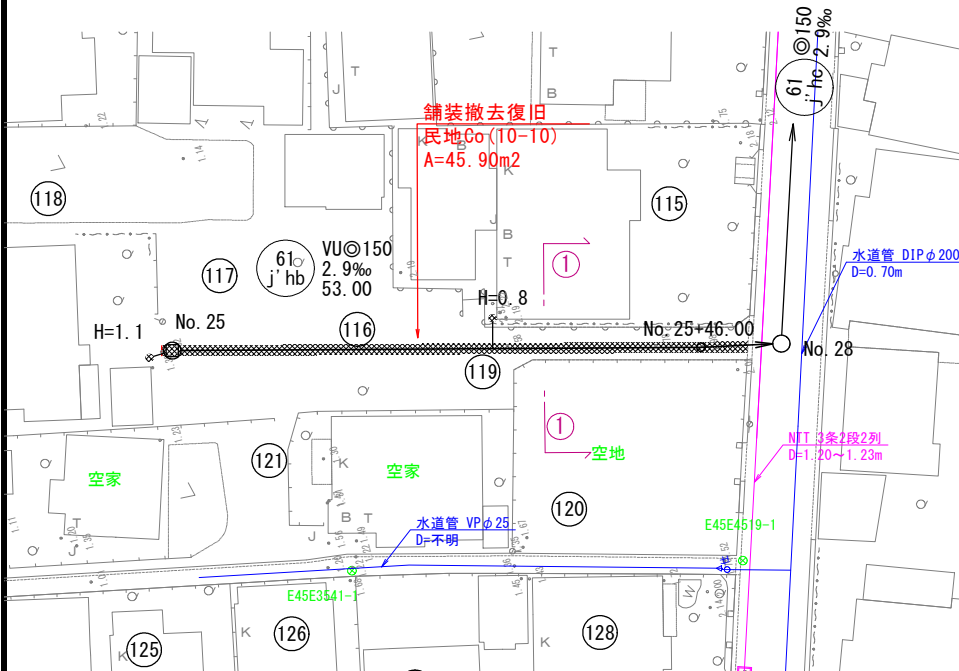
舗装復旧工 10-10													舗装打ち換え												
路線番号	区間	仮復旧					本復旧					路盤鋤取り													
	上流	路盤		表層			不陸整正		表層		砂利道														
							車道	交差点	1.4m未満	交差点	1.4m未満			交差点											
		下流	17cm		3cm	10cm	10cm	補足材なし		10cm				10cm											
		RC-30		再生粗粒度	18-8-40	RCC-30	RC-30		Co:18-8-40		RC-40		m3												
61j'hb	No.25 No.28	45.90		45.90			45.90		45.90				3.2												
小 計		45.90					45.90		45.90				3.20												
合 計		45.90		45.90			45.90		45.90																

※ 本復旧の交差点部は、別紙図面を参照すること。
※ 本復旧施工幅は、車道幅員を原則として考えるが、施工幅員が1.4m以上でも、施工範囲が点在し小規模であれば、現場状況を考慮して1.4m未満として計上すること。

コンクリート舗装部撤去復旧工 10-10

起債事業

根 拠 図



路線番号	測点
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31
32	32
33	33
34	34
35	35
36	36
37	37
38	38
39	39
40	40
41	41
42	42
43	43
44	44
45	45
46	46
47	47
48	48
49	49
50	50
51	51
52	52
53	53
54	54
55	55
56	56
57	57
58	58
59	59
60	60
61	61
62	62
63	63
64	64
65	65
66	66
67	67
68	68
69	69
70	70
71	71
72	72
73	73
74	74
75	75
76	76
77	77
78	78
79	79
80	80
81	81
82	82
83	83
84	84
85	85
86	86
87	87
88	88
89	89
90	90
91	91
92	92
93	93
94	94
95	95
96	96
97	97
98	98
99	99
100	100

61j' hb
No.25~No.28付近

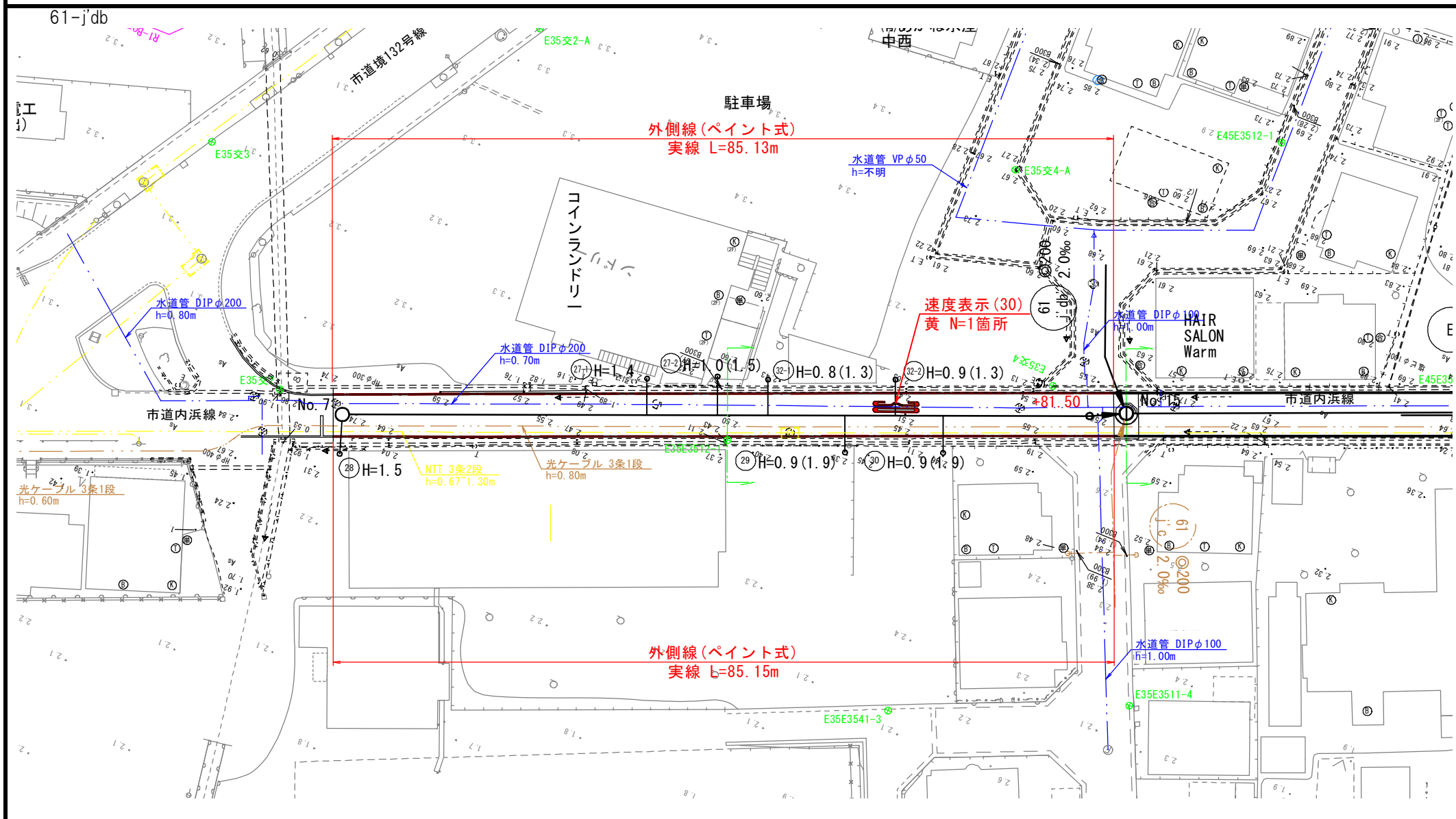
名 称	種 別	計 算 式	単 位	数 量
舗装撤去工				
舗装版切断	Co t=10cm	51*2	m2	102
舗装版破碎	Co t=10cm	51*0.9	m2	45.90
	仮As t=3cm		m2	45.90
殻処分	Co	45.90×0.10	m3	4.60
	As	45.90×0.03	m3	1.4
舗装復旧工				
表層	Co t=10cm	舗装版撤去面積と同じ	m2	45.90
不陸整正	補足材なし Rc-30	舗装版撤去面積と同じ	m2	45.90
舗装仮復旧工				
表層	再生粗粒度As t=3cm	舗装版撤去面積と同じ	m2	45.90
路盤	t=17cm Rc-30	舗装版撤去面積と同じ	m2	45.90

数量計算書

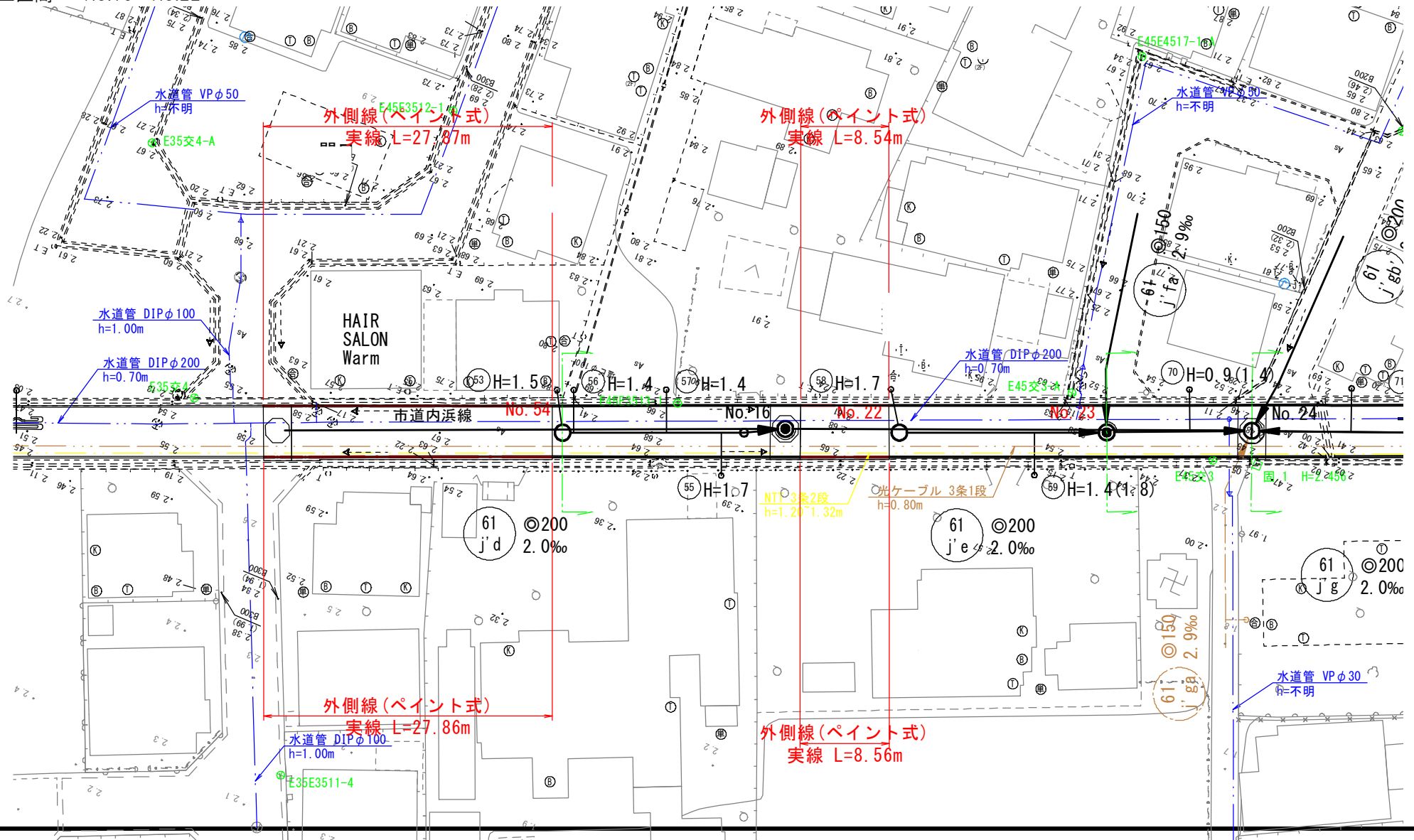
区画線工

起債事業
(単位:m)

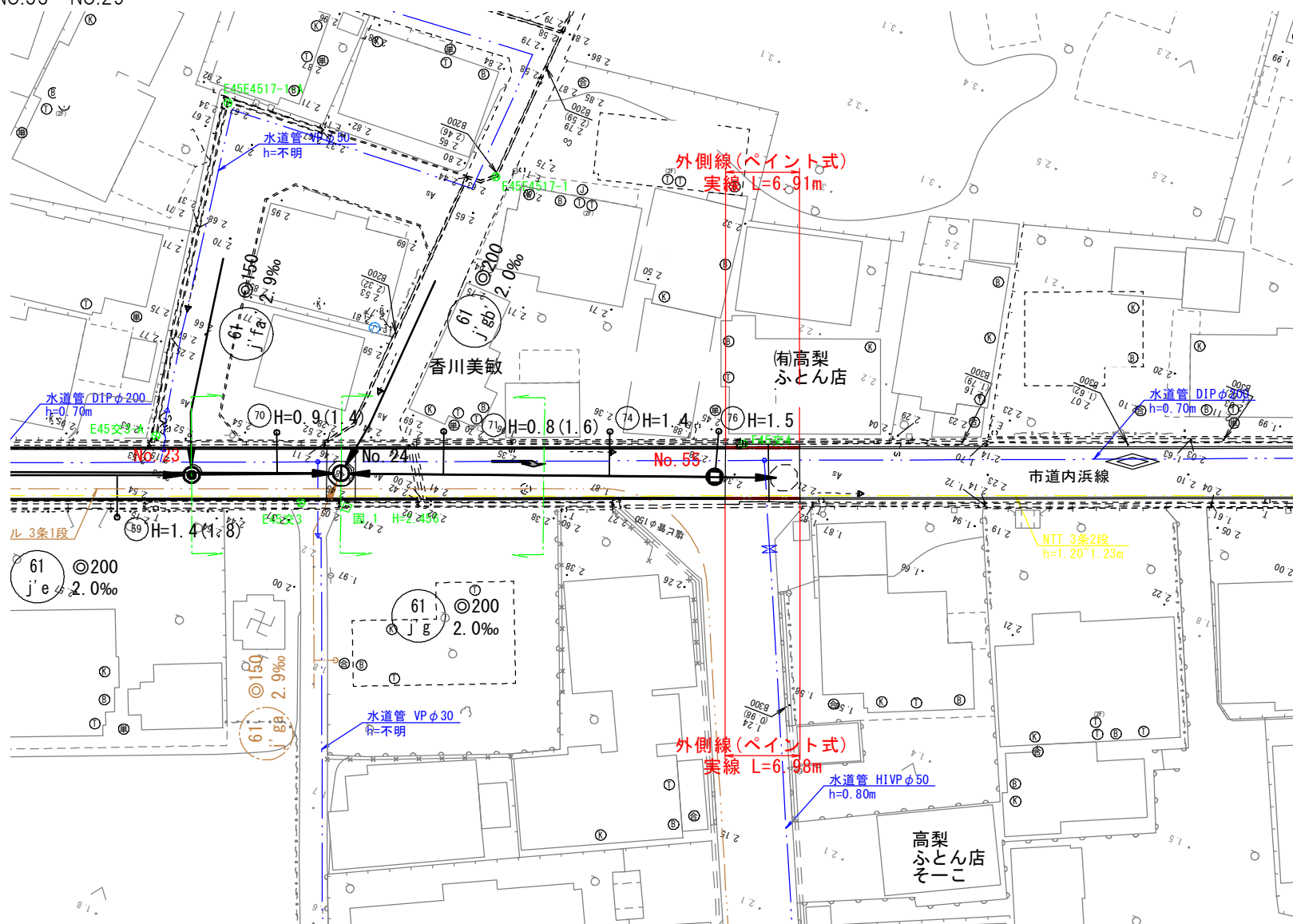
路線番号	熔融式							文字・記号			ペイント式			摘 要
	実線（白）	実線（黄）	実線（白）	実線（黄）	破線（白）	停止線	横断歩道	止まれ	◇	30 （黄）	実線（白）	破線（白）	カラー塗装 （緑）	
	幅15cm	幅15cm	幅20cm	幅20cm	幅15cm	幅30cm	幅45cm	19.61 幅15cm換算	16.51 幅15cm換算	19.34 幅15cm換算	幅15cm	幅15cm	面積 ㎡	
61-j'db										19.34	170.28			
未施工区間											72.83			NO.15～NO.22
未施工区間											13.89			NO.55～NO.29
61-j'ja'						2.60	18.00		33.02	19.34	103.15			
未施工区間									16.51		45.00			
小 計						2.60	18.00		49.53	38.68	405.15			
合 計	108.81										405.15			



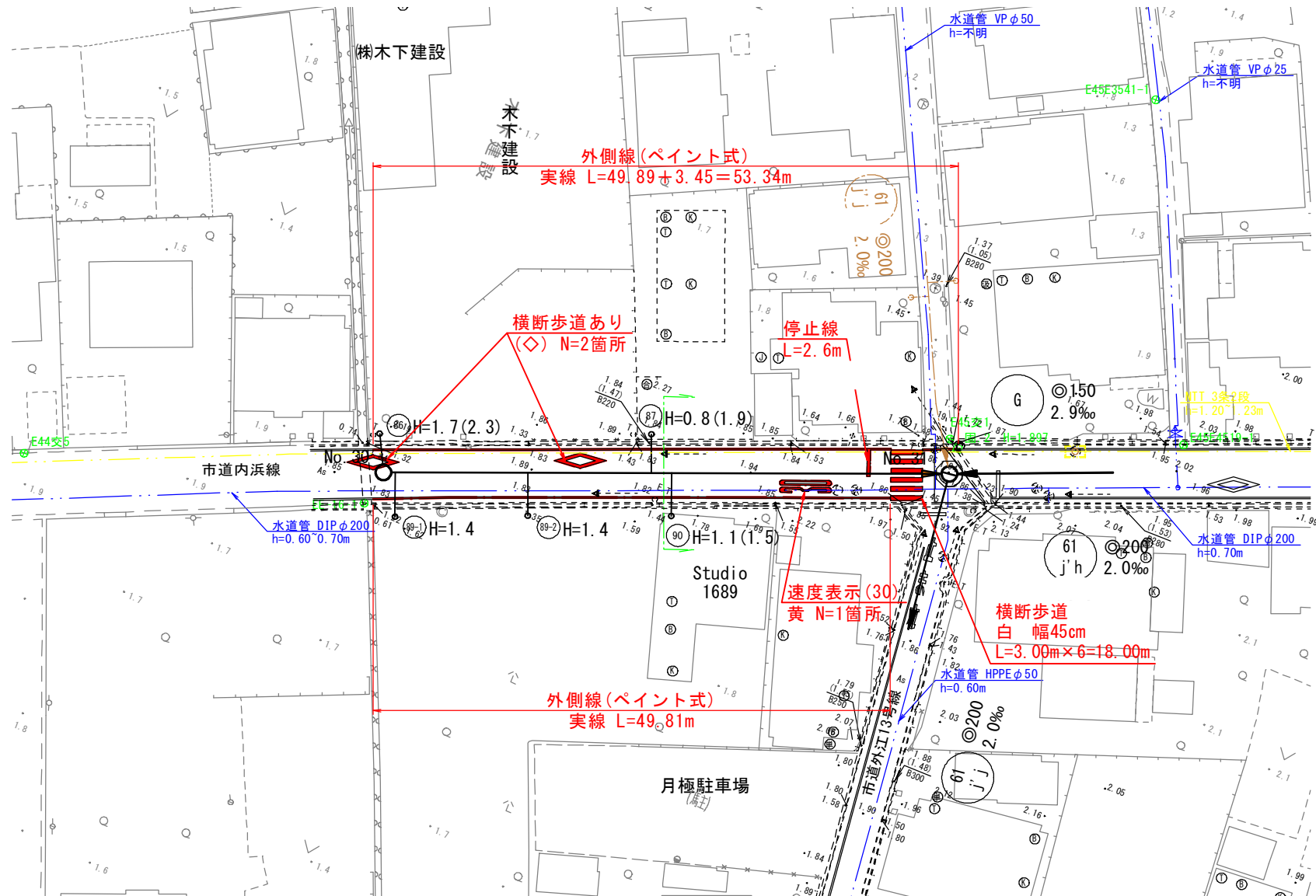
未施工区間 NO.15~NO.22

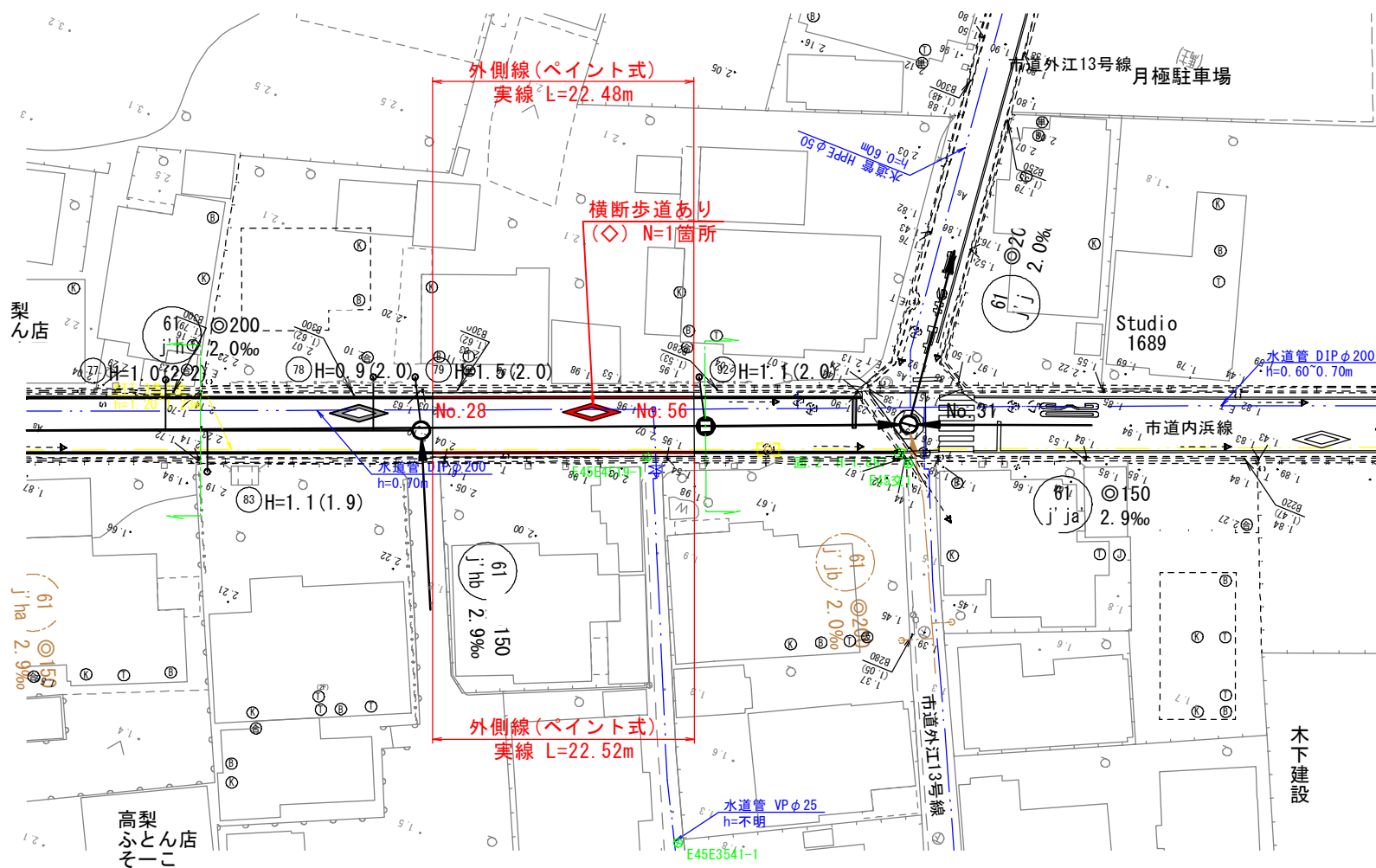


未施工区間 NO.55~NO.29



61-j'ja'





積 算 資 料

(起 債 : 開 削)

総 括 表

種 別	名 称	細別・規格	単位	数量	摘 要
管路土留工	建込簡易土留賃料	H=2.5型 平均掘削深2.5m以下	日	48	本管φ150
	建込簡易土留賃料	H=2.5型 平均掘削深2.5m以下	日		本管φ200
	軽量鋼矢板賃料	LSP-Ⅱ型 H=2.5m 平均掘削深2.0m以下 1セット3.10m(0.73t) 使用回数：6回	日	5	取付管φ100 φ150から転用
	軽量鋼矢板賃料	LSP-Ⅱ型 H=2.5m 平均掘削深2.5m以下 1セット4.10m(0.97t) 使用回数：1回	日		取付管φ150
	鋼製切梁材賃料	管埋設工事用 平均掘削深2.0m以下(1段設置) 調整長600～1000mm：2本	日	5	取付管φ100 φ150から転用
	鋼製切梁材賃料	管埋設工事用 平均掘削深3.5m以下(2段設置) 調整長600～1000mm：4本	日		取付管φ150
	アルミ腹起し材賃料	管埋設工事用 平均掘削深2.0m以下(1段設置) 幅70～80mm, 高115～130mm：2本(4m)	日	5	取付管φ100 φ150から転用
	アルミ腹起し材賃料	管埋設工事用 平均掘削深3.5m以下(2段設置) 幅70～80mm, 高115～130mm：4本(3m：0本、4m：4本)	日		取付管φ150
ウェルポイント工	ウェルポイント設置・撤去		本	139	本管φ150
	ポンプ設置・撤去		組	5	本管φ150
	運転管理日数		日	34	本管φ150
	損料日数		日	49	本管φ150
	ウェルポイント設置・撤去		本		本管φ200
	ポンプ設置・撤去		組		本管φ200
	運転管理日数		日		本管φ200
	損料日数		日		本管φ200
交通誘導警備員	交通誘導警備員A		人		0日×0人配置
	交通誘導警備員B		人	189	63日×3人配置

工 程 表

管径	φ150mm	
土留	あり	建込み簡易土留
水替え	あり	設置間隔 2.00m

起債事業

工 種	工 程 表 (30m当り)		項 目	単位	計 算 式	数量
ウェルポイント設置工	0.6	(0.6)	① 施工延長	m		277.5
掘削・建込工	1.5	(2.1)	② 土留め延長	m		277.5
			③ 土留め転用回数	回	② ÷ 30 m	9.3
管布設工	0.6	(2.7)	④ マンホール設置	日	0号 2 カ所 × 0.20	0.40
					1号 カ所 × 0.25	
					2号 カ所 ×	
埋戻工	1.5	(4.2)			小型塩ビ 2 カ所 × 0.04 (H<3.5)	0.08
					小型レジン カ所 × 0.12 (H<2.0)	
					計	0.48
引抜き工	(3.8)	0.4	⑤ 土留損料日数	日	(④ × ③ + ④) × 1.4	48
			⑥ ウェルポイント施工延長	m		277.5
ウェルポイント撤去工	0.3	(4.5)	⑦ ウェルポイント転用回数	回	⑥ ÷ 30 m	9.3
㊦ 建込み簡易土留	3.6日		⑧ ウェルポイント運転日数	日	㊦ × ⑦ + ④	34
			⑨ ウェルポイント損料日数	日	(⑧ + (0.6+0.3)) × 1.4	49
	3.6日		⑩ 交通整理員日数	日	⑧ + (0.6+0.3)	35

平均掘削深数量計算書

土留工(φ 150mm)					起債事業
路線 番号	マンホール番号	平均掘削深 H	区間延長 L	数量 H×L	適 用
61 j'db	0号 自在曲管 No.7 ~ No.7+81.50	2.410	81.50	196.42	路線平均掘削深 H= 569.96 ÷ 277.50 ≒ 2.05 m 建込簡易土留延長 L= 277.50 m 建込簡易土留規格 2.5 型
	自在曲管 2号 No.7+81.50 ~ No.15	2.470	4.00	9.88	
61 j'hb	小型塩ビ 自在曲管 No.25 ~ No.25+46.0	1.620	46.00	74.52	
	自在曲管 0号 No.25+46.0 ~ No.28	2.090	7.00	14.63	
61 j'ja'	0号 2号 No.30 ~ No.31	2.230	54.50	121.54	
61 j'la	小型塩ビ 自在曲管 No.34 ~ No.34+79.5	1.820	79.50	144.69	
	自在曲管 1号 No.34+79.5 ~ No.35	1.655	5.00	8.28	
合計			277.50	569.96	

マンホール種別	設置数
0号	2
1号	
2号	
小型塩ビ	2
小型レジン	
自在曲管	3

工事日数計算書

起債事業

管 径	φ	150
土留め有	W	0.90
掘 削 深	H	2.05

① ウェルポイント設置工

- ・ ウェルポイント設置

設置間隔	2.0
------	-----

$$30 \text{ m} \div 2.0 \div 43 \text{ (本/日)} = 0.3 \text{ 日}$$
 - ・ ウェルポイントポンプ設置

$$1 \text{ 台} \div 3 \text{ 台} = 0.3 \text{ 日}$$
-
- = 0.6 日**

② 掘削工

- ・ 建込工

土留め	BH0.28m3	2.5 型
-----	----------	-------

$$30 \text{ m} \div (6.5 \text{ h/日} \div 0.13 \text{ h/m}) = 0.6 \text{ 日}$$
 - ・ 掘削工

掘削幅	0.90
表層厚	0.04

$$0.90 \times (2.05 - 0.04) \times 30 \div 59 \text{ m3/日} = 0.9 \text{ 日}$$
-
- = 1.5 日**

③ 管布設工

- ・ $30 \text{ m} \times 0.021 \text{ 日/m} = 0.6 \text{ 日}$

④ 埋戻工

舗装厚	0.14
-----	------

- ・ 埋戻し+砂基礎

$$0.90 \times (2.05 - 0.14) - \pi/4 \times 0.165^2 = 1.70 \text{ m3/m}$$

$$30 \text{ m} \times 1.70 \text{ m3/m} \div 33 \text{ m3/日} = 1.5 \text{ 日}$$

⑤ 引抜工

機種	トラッククレーン4.8～4.9t吊
----	-------------------

- $30 \text{ m} \times 0.014 \text{ 日/m} = 0.4 \text{ 日}$

⑥ ウェルポイント撤去工

- ・ ウェルポイント撤去

設置間隔	2.0
------	-----

$$30 \text{ m} \div 2.0 \div 83 \text{ 本/日} = 0.2 \text{ 日}$$
 - ・ ウェルポイントポンプ撤去

$$1 \text{ 台} \div 10 \text{ 台} = 0.1 \text{ 日}$$
-
- = 0.3 日**

工事日数算出根拠

工種	規格	算定式	単位	数量	摘要
①ウェルポイント設置工					
ウェルポイント設置	施工規模100本以上		本/日	43	令和6年度版 国交省土木工事積算基準書 I-14-①-57
ウェルポイントポンプ設置			組/日	3	令和6年度版 国交省土木工事積算基準書 I-14-①-57
②掘削・建込み工					
掘削	BH山積み0.13m3		m3/日	44	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p16
掘削	BH山積み0.28m3		m3/日	59	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p16
建込簡易土留建込み	2.0 m以下	1.1h÷10m	h/m	0.11	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p39
建込簡易土留建込み	2.5 m以下	1.3h÷10m	h/m	0.13	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p39
建込簡易土留建込み	3.0 m以下	1.5h÷10m	h/m	0.15	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p39
バックホウ施工時間	BH山積み0.13m3	14.8h/100m3×44m3/日	h/日	6.5	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p15、16
バックホウ施工時間	BH山積み0.28m3	11.1h/100m3×59m3/日	h/日	6.5	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p15、16
③管布設工					
管布設	φ150mm	世話役0.21÷10m	日/m	0.021	下水道用設計積算要領-管路施設(開削工法)編- 参考歩掛 p334
管布設	φ200mm	世話役0.22÷10m	日/m	0.022	下水道用設計積算要領-管路施設(開削工法)編- 参考歩掛 p334
④埋戻し工					
タンパ作業量			m3	33	令和6年度 国交省土木工事積算基準書 I-14-①-17
⑤引抜工					
建込簡易土留引抜き	2.0 m以下	0.12日÷10m	日/m	0.012	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p39
建込簡易土留引抜き	2.5 m以下	0.14日÷10m	日/m	0.014	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p39
建込簡易土留引抜き	3.0 m以下	0.16日÷10m	日/m	0.016	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p39
⑥ウェルポイント撤去工					
ウェルポイント撤去	施工規模100本以上		本/日	83	令和6年度版 国交省土木工事積算基準書 I-14-①-57
ウェルポイントポンプ撤去			組/日	10	令和6年度版 国交省土木工事積算基準書 I-14-①-57

工事日数算出根拠

工種	規格	算定式	単位	数量	摘要
⑦建込工					
軽量鋼矢板建込み	小型バックホウ 1.5 m以下	100m÷1.7日	m/日	58.8	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
軽量鋼矢板建込み	小型バックホウ 2.0 m以下	100m÷1.8日	m/日	55.6	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
軽量鋼矢板建込み	小型バックホウ 2.5 m以下	100m÷1.9日	m/日	52.6	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
軽量鋼矢板建込み	小型バックホウ 3.0 m以下	100m÷2.1日	m/日	47.6	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
⑧引抜き工					
軽量鋼矢板引抜き	トラッククレーン 1.5 m以下	100m÷0.9日	m/日	111.1	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
軽量鋼矢板引抜き	トラッククレーン 2.0 m以下	100m÷1.0日	m/日	100.0	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
軽量鋼矢板引抜き	トラッククレーン 2.5 m以下	100m÷1.0日	m/日	100.0	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
軽量鋼矢板引抜き	トラッククレーン 3.0 m以下	100m÷1.1日	m/日	90.9	令和6年度 下水道用標準設計歩掛 管路施設 p41
⑨取付管布設工					
取付管布設	φ100～200mm	1÷世話役0.017	m/日	58.8	下水道用設計積算要領-管路施設(開削工法)編- 参考歩掛 p355
⑩ます設置工					
ます設置	1.0 m以下	1÷世話役0.019	箇所/日	52.6	下水道用設計積算要領-管路施設(開削工法)編- 参考歩掛 p353
ます設置	1.5 m以下	1÷世話役0.024	箇所/日	41.7	下水道用設計積算要領-管路施設(開削工法)編- 参考歩掛 p353
ます設置	2.0 m以下	1÷世話役0.029	箇所/日	34.5	下水道用設計積算要領-管路施設(開削工法)編- 参考歩掛 p353

ウェルポイント材料集計表

1工事単位

設置間隔 2.0 m

(30m当り)

名 称	規 格 ・ 計 算	単位	数量	備 考
ヘッダーパイプ	2.00 - 0.041 × 2 = 1.92 m	本	15	
〃	1.0m	〃	1	
〃	0.2m	〃	1	
フランジ	鋳鉄製φ100mm	個	1	
ニップル	〃	〃	1	
ソケット	〃	〃	1	
バルブソケット	塩ビ製φ100mm	〃	1	
チーズ	〃	〃	16	
キャップ	〃	〃	1	
サクションホース	〃	m	2	
ウェルポイント	設置間隔 2.0m	本	16	
平均掘削深(1工事当りの平均)				
		2.12	m	
ライザーパイプ長(平均掘削深+1.0m)				
		3.1	m	
基幹事業のウェルポイント打ち込み本数				
		102	本	
起債事業のウェルポイント打ち込み本数				
		139	本	

※ライザーパイプ長は、1工事当りの平均掘削深から算出するものとし、事業種別毎や管径毎で分けて算出しないこと。

ウェルポイント数量計算書

1工事単位

路線 番号	マンホール番号	平均掘削深 H	区間延長 L	数量 H×L	事業 種別	
φ150 土留	～	2.19	174.50	382.16	基幹事業	1工事当り平均掘削深 H= 1017.45 ÷ 481.00 ≒ 2.12 m
φ150 素掘	～	0.00	0.00	0.00	〃	
φ200 土留	～	2.29	29.00	66.41	〃	
φ200 素掘	～	0.00	0.00	0.00	〃	
小計			203.50	448.57		
						(1工事当り) (水替総延長) (設置間隔)
						ウェルポイント打込み本数 N= 481.00 ÷ 2.0 + = 241
φ150 土留	～	2.05	277.50	568.88	起債事業	基幹事業打込み本数 φ150 土留 N= 174.50 ÷ 2.0 + = 87 φ150 素掘 N= 0.00 ÷ 2.0 + = 0 φ200 土留 N= 29.00 ÷ 2.0 + = 15 φ200 素掘 N= 0.00 ÷ 2.0 + = 0
φ150 素掘	～	0.00	0.00	0.00	〃	
小計			277.50	568.88		
						起債事業打込み本数 φ150 土留 N= 277.50 ÷ 2.0 + = 139 φ150 素掘 N= 0.00 ÷ 2.0 + = 0
合計			水替延長 481.00	1017.45		

外江地区 3 工区

仮設計画ガイドブックより

●ウェルポイントを1列に施工する場合

①設計条件

掘削延長	30.0 m
掘削幅	0.90 m
平均掘削深さ	2.12 m
帯水層厚	5.04 m
地下水位標高	0.88 m
計画水位標高	-0.80 m
透水係数	1.34×10^{-2} cm/sec
帯水土層	砂
平均地盤高	2.32 m

《Borデータ》		
GL=	3.18 m	WL=GL- 2.30 m
地下水位低下高	1.68 m	
(掘削底面- 1.00 m)		
不透水層	-4.16 m	(GL- 6.48 m)

表-9.2.4

土質	q(m3/min)
礫	50~70×10 ⁻³
砂礫	30~50×10 ⁻³
粗砂	20~25×10 ⁻³
砂	15×10 ⁻³ 前後
細砂	8~10×10 ⁻³

②排水量の計算

a. 影響半径 P165

kusakinの式 (クサキン)

$$R = 575 \times S \sqrt{D \times K}$$

$$= 575 \times 1.68 \sqrt{5.04 \times 0.000134}$$

$$= 25 \text{ m}$$

seichardtの式 (ジハルト)

$$R = 3000 \times S \sqrt{K}$$

$$= 3000 \times 1.68 \sqrt{0.000134}$$

$$= 58 \text{ m}$$

R: 影響半径(m) S: 水位低下量(m)
D: 帯水層厚(m) K: 透水係数(m/sec)

よって、大きい方を採用し 58 m とする。

b. 排水量の計算 (2次元モデル) P170

○不圧帯水層で不完全貫入状態の場合(ただしR/H>3の場合に適用)

$$58 / 5.04 = 11.50794 > 3$$

下記の式が適用可能

$$Q = \frac{K(H^2 - h_o^2)}{R} \times L \left[0.73 + 0.27 \left(\frac{H - h_o}{H} \right) \right]$$

$$= \frac{0.000134}{58} \times (5.04^2 - 3.36^2) \times 30 \times$$

$$\left[0.73 + 0.27 \times \left(\frac{5.04 - 3.36}{5.04} \right) \right]$$

$$= 0.000802 \text{ m}^3/\text{s} = 0.04812 \text{ m}^3/\text{min}$$

k: 透水係数(m/s) h_o: 内水位(m) H: 初期地下水位(m)

③ウェルポイントの本数(N) P193

土質によりウェルポイント1本当りの吸水量を地盤の透水係数と吸水量の関係をもとに
9 × 10⁻³ m³/minと想定する。(表-9.2.4参照)

$$N = 2 \sim 3 \frac{Q}{q} = \frac{2.5}{0.009} \times 0.04812 = 13 \text{ 本}$$

余裕率

Q: 定常状態での全揚水量(m³/min) q: ウェルポイント1本の揚水量(m³/min)

④ウェルポイントの間隔(a) P202

ウェルポイントは掘削箇所の片側に配置することとする。

$$a = \frac{L \times s}{N} = \frac{30 \times 1}{13} = 2.31 \text{ m} \rightarrow 2.0 \text{ m}$$

(ウェルの間隔は0.5mピッチとする。)

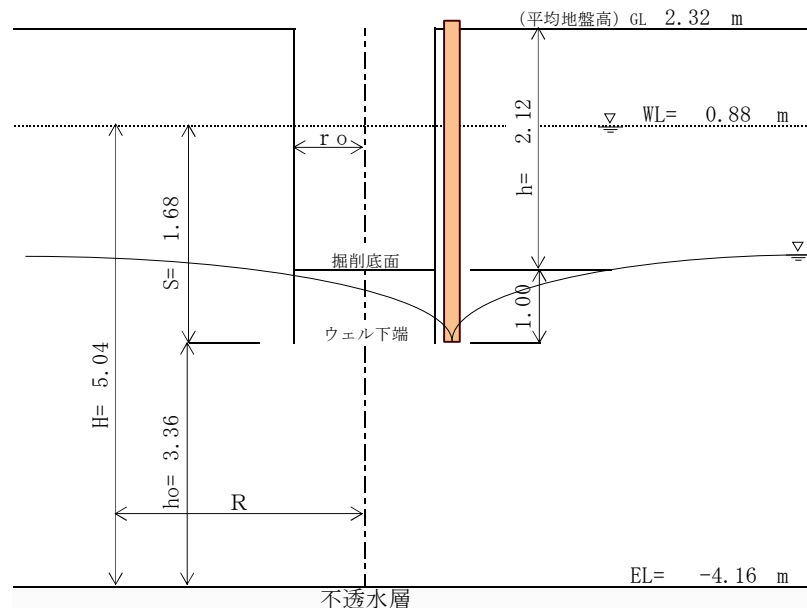
L: ヘッダーパイプの長さ N: ウェルポイントの本数 S: 列数

⑤ウェルポイントポンプの選定及び台数(n)

真空ポンプ 3.5 m³/minを使用。

$$n = \frac{(2 \sim 3) Q}{(0.7 \sim 0.8) E} = \frac{2.5 \times 0.04812}{0.75 \times 3.5} = 0.046 \approx 1 \text{ 台}$$

Q: 定常状態での排水量(m³/min) E: 排水ポンプの公称排水量



取付管土留め数量計算書

起債事業

路線番号	61jdb (右)	
	61jla (右)	
取付管径	100	mm
バックホウ規格	0.13	m3
掘削幅	0.85	m
取付管総延長	18.60	m
取付管箇所数	6	力所
平均施工延長	3.10	m
平均掘削深	1.89	m
平均公共柵深	1.87	m
※取付管土工数量計算書より		
土留の種類	軽量鋼矢板	
土留め長さ	2.5	m
掘削深	2.0m以下	
支保工	1	段
表層厚さ(計)	5	cm
路盤厚さ(計)	20	cm

標準断面図

土量計算(1箇所当り)

機械掘削	(1.89 - 0.05) × 0.85 × 3.10	4.8 m3
埋戻し	{ (1.89 - 0.3) × 0.85 - 0.01 } × 3.10 - 1.87 × 0	4.2 m3

工種別日数計算(1箇所当り)

工種	規格	数量	単位	能力	算定式	実日数
機械掘削	砂質土 BH0.13m3	4.8	m3	44.0 m3/日	4.8 ÷ 44.0	0.1 日
土留建込み	LSP-Ⅱ H=2.5m	3.1	m	52.6 m/日	3.1 ÷ 52.6	0.1 日
						d1= 0.2 日
管布設	VUφ100mm	3.1	m	58.8 m/日	3.1 ÷ 58.8	0.1 日
柵設置	φ200mm	1	個	個/日		0.1 日
						d2= 0.2 日
埋戻し		4.2	m3	33.0 m3/日	4.2 ÷ 33.0	0.1 日
土留撤去	LSP-Ⅱ H=2.5m	3.1	m	100.0 m/日	3.1 ÷ 100.0	0.0 日
						d3= 0.1 日

1箇所当り水替日数 d2 0.2 ÷ 1 日

1箇所当り作業日数 ① d1+d2+d3 0.5 日

1工事当り作業日数 ① × 箇所数 0.5 × (箇所数) 6 = 3.0 ÷ 3 日

土留め集計表

軽量鋼矢板建込み・引抜工(両側分)					軽量金属土留支保工設置・撤去		
総延長 m	土留長さ m	1セット(1回当り) m	転回回数 回	t	総延長 m	1セット(1回当り) 切梁材 本	1セット(1回当り) 腹起材 本
18.60	2.50	3.10	0.73	5	18.60	(調整長600~1000mm) 2	(長さ4m/本) 2

1箇所当りの土留め延長 3.10 m

1箇所当りの使用回数 1 回

1工事当り土留賃料日数 ① × 1.4 × 箇所数 0.5 × (箇所数) 6 = 5 日

1工事当り支保工賃料 5 日 最低保証期間 30 日

土留め運搬重量 (L) (両側) (H) 3.1 × 2 × 2.5 × 0.0472 t/m2 0.73 t

交通整理員算定表

起債事業

1. 下水道本管の作業日数

口径	土留め	作業区分	日数	口径	土留め	作業区分	日数	合計①
φ150mm	あり	機械施工	35	φ150mm	あり	人力施工		35
"	なし	"	0	"	なし	"		
φ200mm	あり	機械施工		φ200mm	あり	人力施工		
"	なし	"		"	なし	"		

道路種別	市道
交通誘導員	B2
交代要員	あり

2. 下水道本管以外の作業日数

(1/1)

工 種	種 別	細 別	数量	単位	日当り 作業量	作業日数	摘要	
舗装撤去	打ち換え	舗装版切断 4～10cm	15cm以下	602.5	m	203	3.0 I-14-①-115	
		〃	15cm～30cm以下		m	127	0.0 I-14-①-115	
		舗装版破碎 4～10cm	直接掘削 15cm以下	1216.3	m2	484	2.5 I-14-①-114	
		〃	15cm～40cm以下		m2	288	0.0 I-14-①-114	
		舗装版破碎(小規模)		263.7	m2	23	11.5 I-14-①-17	
車道舗装 4-10	打ち換え	上層路盤 11cm	歩道施工 15cmまで	79.0	m2	268	0.3 I-14-①-101	
		仮表層 3cm	車道部1.4m未満 50mm以下	79.0	m2	250	0.3 I-14-①-102	
		不陸整正		105.0	m2	1510	0.1 I-14-①-101	
		表層 4cm	車道部1.4m未満 50mm以下	105.0	m2	250	0.4 I-14-①-102	
		〃	車道部1.4m以上3.0m未満 70mm以下		m2	1300	0.0 I-14-①-102	
		〃	車道部3.0m超 70mm以下		m2	2300	0.0 I-14-①-102	
		〃						
車道舗装 5-10-10	打ち換え	下層路盤 10cm	歩道施工 20cmまで	138.7	m2	268	0.5 I-14-①-101	
		上層路盤 12cm	歩道施工 15cmまで	138.7	m2	268	0.5 I-14-①-101	
		仮表層 3cm	車道部1.4m未満 50mm以下	138.7	m2	250	0.6 I-14-①-102	
		不陸整正		1065.4	m2	1510	0.7 I-14-①-101	
		表層 5cm	車道部3.0m超 70mm以下	1065.4	m2	2300	0.5 I-14-①-102	
		〃						
		〃						
車道舗装 5-5-10-15	打ち換え	下層路盤 15cm	歩道施工 20cmまで		m2	268	0.0 I-14-①-101	
		上層路盤 17cm	歩道施工 15cmまで		m2	268	0.0 I-14-①-101	
		仮表層 3cm	車道部1.4m未満 50mm以下		m2	250	0.0 I-14-①-102	
		不陸整正			m2	1510	0.0 I-14-①-101	
		基層 5cm	車道部3.0m超 70mm以下		m2	2300	0.0 I-14-①-102	
		表層 5cm	車道部3.0m超 70mm以下		m2	2300	0.0 I-14-①-102	
		〃						
車道舗装 10-10	打ち換え	路盤 17cm	歩道施工 20cmまで	45.9	m2	268	0.2 I-14-①-101	
		仮表層 3cm	車道部1.4m未満 50mm以下	45.9	m2	250	0.2 I-14-①-102	
		不陸整正		45.9	m2	1510	0.0 I-14-①-101	
		表層 10cm	無筋・鉄筋構造物・人力打設	4.6	m3	4	1.2 I-14-①-54	
		〃						
車道舗装 5-5-10-15(仮)	切削オ-パ-レイ	下層路盤 15cm	歩道施工 20cmまで		m2	268	0.0 I-14-①-101	
		上層路盤 10cm	歩道施工 15cmまで		m2	268	0.0 I-14-①-101	
		基層 5cm	車道部1.4m未満 50mm以下		m2	250	0.0 I-14-①-102	
		仮表層 5cm	車道部1.4m未満 50mm以下		m2	250	0.0 I-14-①-102	
		切削オ-パ-レイ 5cm	7cm以下		m2	910	0.0 IV-3-①-7	
構造物取り壊し 既設水路等		無筋構造物	機械施工		m3	19	0.0 VI-1-④-2	
		〃	人力施工		m3	5.5	0.0 VI-1-④-2	
		鉄筋構造物	機械施工		m3	11	0.0 VI-1-④-2	
		〃	人力施工		m3	4	0.0 VI-1-④-2	
取付管・柵設置	素掘り部	取付管 φ100mm 1.50m以下 1/世話役0.017	31.6	m	59	0.5 下水-設計積算要領P355		
		〃 φ150mm 1.50m以下 1/世話役0.017		m	59	0.0 下水-設計積算要領P355		
		汚水柵 φ200mm 2.00m以下 1/世話役0.029	11.0	カ所	34	0.3 下水-設計積算要領P353		
		機械掘削 BH0.13m3	28.3	m3	44	0.6 下水-標準歩掛表A-1-4		
		人力掘削 床掘り 現場制約あり		m3	2.4	0.0 I-14-①-16		
		埋戻 タンバ作業量	23.6	m3	33	0.7 I-14-①-17		
		〃						
取付管・柵設置	土留め部	建て込み簡易土留 BH0.28m3		式	—	—	取付管土留め計算より	
		軽量鋼矢板 BH0.13m3	1.0	式	—	3.0	取付管土留め計算より	
					合計②	27.6		

交通整理員の実日数 = 35 + 27.6 = 63 日

配置人数 2名